

第三次長野市子ども読書活動推進計画庁内調査の進捗状況

1 庁内調査にあたって

(1) 庁内調査とは

長野市では、読書に親しむ環境の充実、家庭・学校・地域の連携の推進、普及・啓発活動の促進を基本的視点に、平成30年度に「第三次長野市子ども読書活動推進計画」を策定した。

計画では、目標となる指標の達成状況および具体的な取組の進捗状況について、毎年庁内調査を実施し、必要に応じ事業内容および手法の改善を図ることとしている。

本調査は、これに基づいて、計画に掲げた取組の進捗状況を検証するもの

(2) 点検の方法

【調査対象】計画に掲げる事業・取組等（計58事業）を担当する主管課または関係所属（計9所属）に調査を実施。

【調査項目】数値目標と具体的な取組について、5ヵ年計画の4年度目である令和3年度の実績と、現況・課題、今後の方向性を調査。

2 進捗状況（令和3年度実績）

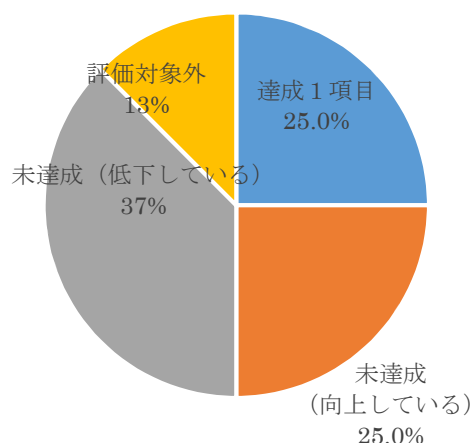
(1) 数値目標

指標8項目のうち、2項目で目標を達成し、2項目で目標に近づいている。

指標8項目のうち、2項目で目標を達成し、2項目で計画策定時の値を上回り目標に近づき、3項目で計画策定時の値を下回っている。

※No.2は、「全国学力・学習状況調査」の質問項目を指標としているが、R3年度は項目自体が無かったため、評価対象外としている。

数値目標達成状況



(達成状況) ◎…達成、○…近づいている、△…低下している

No.	担当所属	指標項目	計画策定時 現状値 (H28 年度)	R4 年度 目標	R3 年度末 実施状況	達成 状況
1	家庭・地域 学びの課	「おひざで絵本」事業 での絵本配布率	92.1%	96.0%	87.7%	△
2	学校教育課	読書を「好き」と答え た児童・生徒の割合 (小6・中3)	小6 80.1% 中3 72.9%	小6 90.9% 中3 80.7%	- ※	- ※
3	学校教育課	一日あたり読書時間 が「10 分以上」と答え た児童・生徒の割合 (小6・中3)	小6 65.5% 中3 50.7%	小6 68.5% 中3 53.7%	小6 63.5% 中3 56.8%	○
4	長野図書館 南部図書館	市立図書館における 児童書の蔵書冊数 (0～12 歳一人あたり)	209,482 冊 (4.89 冊)	227,482 冊 (5.96 冊)	240,169 冊 (6.39 冊)	◎
5	南部図書館 家庭・地域 学びの課	図書館分室における 児童書の貸出冊数	20,830 冊	21,730 冊	23,624 冊	◎
6	長野図書館 南部図書館	市立図書館おはなし 会参加者数	2,610 人	2,832 人	1,322 人	△
7	家庭・地域 学びの課	読み聞かせを行う市 立公民館数(割合)※	25 (86.2%)	29 (100%)	18 (62.1%)	△
8	学校教育課	「学校図書館図書標 準」達成学校数の割合	小学校 96% 中学校 75%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 84%	○

※No. 2 は全国学力・学習状況調査の質問項目を指標としているが、令和3年度は項目自体が無かったため評価対象外としている。

(2) 具体的な取組

具体的な取組 58 事業のうち、57 事業を実施した。

○未実施の事業について

- ・事業番号 49「博物館行事に合わせた読書イベントの開催」
読み聞かせを行うボランティアグループが解散したため、今後も事業の実施は困難。

3 考察及び課題

○数値目標

- ・指標項目「読書を「好き」と答えた児童・生徒の割合（小6・中3）」について、「全国学力・学習状況調査」の質問項目を指標としているが、令和3年度は項目自体が無かったため、調査対象外となった。次計画策定時は、長野市として把握できる指標項目を設定する。

○施策1 家庭における子どもの読書活動の推進

- ・事業番号1「おひざで絵本事業の推進・充実」については、令和2年度と比較し、配布率が増加した。（R2:86.3%→R3:87.7%）新型コロナウイルス感染拡大防止のため、絵本を配布する7～8か月児健康教室が中止になったことから、例年よりも配布率が下がっている。ICTの活用及び子育て世帯を対象としたイベント等での事業の周知を継続して行っていく。【家庭・地域学びの課】

指標1：「おひざで絵本」事業での絵本配付率

- ・事業番号3「家族の関わりを促進するための啓発活動の実施」（新規）については、市立図書館において「おはなし会」や「おたのしみ会」を開催したほか、親子の学びを目的としたイベント「親子わくわくフェスタ」において、テーマに沿ったおすすめ本パンフレットを作成・配布した。市民のニーズに合致し、かつ、読書の楽しさを伝える取り組みとしてより効果的な啓発活動を検討し、引き続き事業を推進していく。【家庭・地域学びの課、市立図書館】

○施策2 教育・保育施設等における子どもの読書活動の推進

- ・事業番号8「保育士・幼稚園教諭等職員及びボランティアによる読み聞かせの実施」については、職員による読み聞かせはほぼ毎日行うことができたが、ボランティアによる読み聞かせは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、回数を減らす等の対応を行った施設が多かった。感染症対策を行いながら、現在の取組を継続していく。【保育・幼稚園課】

○施策 3 学校等における子どもの読書活動の推進

指標 8 : 「学校図書館図書標準」達成学校数の割合

- ・事業番号 17 「学校図書館の図書資料の充実」については、小学校及び中学校で実施率が 100%となった。学校司書と教科担任等がこまめに連絡を取り、要望に沿った図書・資料の充実を図っている。今後も現在の取組を継続し、子どもたちからの要望と、情報センターとしての図書館の役割とのバランスをとって、本を購入していく。【学校教育課、小中学校】
- ・事業番号 26 「ふるさとや世界各国の文化等を理解するためのテーマ本の選定・コーナーの設置」（新規）については、東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、関連する本のコーナーを設置した。今後も、地域学習や国際理解のコーナーの展示を充実させていく。【小中学校、学校教育課】

○施策 4 市立図書館等における子どもの読書活動の推進

- ・事業番号 29 「子ども向け行事の実施及び保護者への啓発」については、おはなし会への参加者数が微増した。(R2:1,115 人→R3:1,322 人) 新型コロナウイルス感染症の影響で行事に参加できなかったり、図書館に出向くことができなかったりする子どもや保護者向けに、絵本や児童書を、テーマを設けて 5 冊セットにし、お楽しみセットとして貸し出した。行事参加者の増加を図るため、ホームページ、広報紙以外にも、SNS などの各種メディアを活用したイベント開催情報の発信の拡大を検討する。【市立図書館】

指標 6 : 市立図書館おはなし会参加者数

- ・事業番号 33 「児童書コーナー『お話しの部屋』・『親子コーナー』の整備・充実」については、児童書蔵書数が増加した。(R2:232,982 冊→R3:240,169 冊) 毎年度、着実に計画的購入を実施しており、蔵書冊数は既に数値目標を上回っている。今後も事業を継続し、児童書の更なる充実を目指していく。【市立図書館】

指標 4 : 市立図書館における児童書の蔵書冊数 (0~12 歳一人あたり)

- ・事業番号 44 「公民館講座等における読み聞かせ等の実施」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、おはなし会や親子学級等が中止になったことから、実施した公民館・交流センターの数は少なかった。(R3:29 施設中 18 施設) 今後も、地域の読み聞かせ団体や子育てサークルと連携して引き続き実施していくとともに、それぞれの地域の実情に応じて、実施方法や参加者の募集方法を検討する。【公民館・交流センター、家庭・地域学びの課】

指標 7 : 読み聞かせを行う市立公民館数 (割合)

- ・事業番号 45「図書館分室の整備及び利用促進」については、令和 2 年度と比較し、児童書貸出冊数が増加し、数値目標を上回った。(R2: 19, 696 冊→R3: 23, 624 冊) 公民館報、交流センターだより等による図書館分室の広報・周知活動を継続して実施するとともに、子ども向け図書の案内記事の掲載等を検討する。【公民館・交流センター、南部図書館、家庭・地域学びの課】

指標 5：図書館分室における児童書の貸出冊数

○施策 5 関係機関の連携と普及啓発の促進

- ・事業番号 53「学校図書館に関する相談体制の整備」については、令和元年度に教員や司書からの個別相談に対して必要な支援を受けられるようにするための方針が決定し、学校と公立図書館の連携が進んでいる。公立図書館職員及び学校司書をメンバーとしたワーキンググループを開催しているほか、令和 3 年度は、学校司書の支部会で、本修理方法の研修会を開催した。今後も継続的に関係機関と協議を行い、支援体制の整備について更なる検討を行っていく。【市立図書館・学校教育課】
- ・事業番号 55「ICT を活用した子ども読書活動の啓発」（新規）については、ホームページ及び長野市子育て応援アプリ「すくすくナビ」を利用しておひぎで絵本事業の紹介を行った。現在は、ホームページ等の活用のみに留まっているため、新たな広報媒体での情報発信を検討する必要がある。【家庭・地域学びの課】

第三次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和4年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和3年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
【施策1】家庭における子どもの読書活動の推進					
1	家庭・地域学びの課	おひざで絵本事業の推進・充実	・おひざで絵本事業実施状況 R3:配布人数2,165人、配布率87.7%	・R2(配付人数2,228人、配付率86.3%)と比較し、配付率が増加した。 ・7～8か月児健康教室に参加できず、かつ市への連絡がない家庭に対して、事業の存在や読み聞かせの意義を周知する必要がある。	・ICTの活用および子育て世帯を対象としたイベント等の実施により、継続して事業の周知を行っていく。
2	家庭・地域学びの課 市立図書館	ブックリストの作成・配布、ホームページ等での紹介	【家庭・地域学びの課】 ・7～8か月児健康教室における「お薦め絵本リスト」配布実績 R3:配付人数2,165人 【長野図書館】 児童書の「おすすめの本」リスト配布 R3:600部 年齢別「おすすめの本」リスト配布 R3:各年齢毎 150部 【南部図書館】 8月夏休み子ども会:児童向けおすすめ本リスト作成配布 10月図書館まつり:一般向けおすすめ本リスト作成配布 通年:0～3歳向、幼児向、小学校低学年向、小学校高学年向作成配布	【家庭・地域学びの課】 ・おひざで絵本事業で配付している絵本を含めたブックリストを作成し、絵本と一緒に配布するとともに、ホームページに掲載している。 【長野図書館】 ・こどもの読書週間の標語にちなんだ年間テーマ本を170冊程度選定し館内で展示、リストを作成・配布し、ホームページ等で紹介している。 ・図書館全職員によるいろいろなテーマのおすすめの本を表紙と文で紹介した冊子を作成、館内で配布している。 ・長野図書館おすすめ本の年齢別リスト(0～2歳、3～5歳、小学校低学年、中学年、高学年)を作成、館内で配布している。 【南部図書館】 図書館イベント開催時を中心におすすめ本リスト提供を通じて、読書の楽しさや重要性を伝えている。	【家庭・地域学びの課】 ・ブックリストを広く周知するため、配布方法やICTの活用を検討する。 【長野図書館】 ・現在の取組を継続して実施する。 ・テーマの見直しを行いながら、おすすめ本リストを作成し、館内掲示・配布する。また、ホームページにも掲載し、貸出状況なども確認できるようにする。 【南部図書館】 現在の取り組みを継続して実施する。
3	家庭・地域学びの課 市立図書館	家族の関わりを促進するための啓発活動の実施【新規】	【家庭・地域学びの課】 ・長野市子ども読書デー関連イベントとして、「親子わくわくフェスタ」において、市立図書館司書のおすすめ本パンフレットを配布した。 【長野図書館】 おはなし会 R3:80回、親子910人 お楽しみ会 R3:3回、親子149人 【南部図書館】 おはなし会 R3:26回、親子412人 ・こども会 R3:3回、親子261人	【家庭・地域学びの課】 ・親子の学びを目的としたイベント「親子わくわくフェスタ」において、テーマに沿ったおすすめ本パンフレットを配布し、家族の関わりを深めるきっかけを提供している。 【長野図書館】 ・「おはなし会カード」を作成し、おはなし会に来た子供にシールを配り、12個集めるとプレゼントと交換するようにし、何度もおはなし会に来てもらえるようにしている。 【南部図書館】 ・「おはなし会」や「お楽しみ会」の実施のほか、「親子わくわくフェスタ」で配布したブックリスト作成に協力し、親子が触れ合う機会の提供を通じて、読書の楽しさや重要性を伝えている。	【家庭・地域学びの課】 ・市民のニーズに合致し、かつ、読書の楽しさを伝える取り組みとしてより効果的な啓発活動を検討し、引き続き実施する。 【長野図書館】 ・現在の取組を継続して実施する。 ・参加者が少ないおはなし会の開催時間や、対象年齢別おはなし会の開催を検討する。 【南部図書館】 ・現在の取組を継続して実施する。 ・参加者が少ないおはなし会の開催時間については検討して時間を変更したため、様子を見ていく。 ・有線放送でのテーマ本紹介に「家族」をテーマに取り上げたり、「家族関係」のテーマ本コーナーを設けるなど「家族の関わりを促進するための啓発活動」のありようを検討、実施を図る。 ・「あかちゃんのおはなし会」において、NPO、合同会社等と連携し、おひざで絵本事業とタイアップした「家族の関わりを促進するための啓発活動」の推進を検討する。
4	家庭・地域学びの課	長野市家庭の日における読書の奨励	・「長野市家庭の日」(毎月第3日曜日)とその直前の金曜日に、有線放送による啓発を実施。家族みんなが読書に親しみ、読後の感想などを話題にするよう勧めた。	・有線放送に加入していない家庭が多く、全体として浸透不足となっている。	・有線放送だけでなく、広報ながのを通して、長野市家庭の日の児童や保護者に対して読書の奨励に努めていく。
5	健康課	出生届出の際に配布する「赤ちゃんのしおり」で親子読書の勧めを掲載	・「7～8か月児健康教室 おひざで絵本事業 絵本引換券」の裏面を活用し、親子読書の勧めを掲載した。 R3:あかちゃんのしおり 2,938部	・主管課と連携して、掲載内容を協議調整している。	・現在の取組を継続する。
6	家庭・地域学びの課 健康課	健康教室での読み聞かせの実施や絵本の紹介	・「お薦め絵本リスト」の7～8か月児健康教室における配布実績 R3:配布人数2,165人	・7～8か月児健康教室において、読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせを実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。感染対策のため、会場内で読み聞かせをすることが難しい状況である。 ・「お薦め絵本リスト」により乳児向け絵本の紹介を行っている。	・おひざで絵本事業をさらに周知することで、7～8か月児健康教室参加率の向上を図る。 ・健康教室では、絵本を配付するだけでなく本の楽しさや読書の重要性を伝えるため、読み聞かせボランティア等との連携をさらに深める。

第三次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和4年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和3年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
7	家庭・地域学びの課 健康課	母子健康手帳交付時において、妊産婦等へ子どもの読書活動を推進するためのパンフレット等の配布	・母子健康手帳交付時に、すべての妊婦へ、読み聞かせを薦める内容を含む母子健康手帳副読本を配布した。	・市役所内外の関係部署からのパンフレット等の配布が多数ある中で、妊産婦等へ必要な情報を効果的に伝えるための手法の検討が必要である。	・配布する情報の量、内容及び見せ方について検討しながら、引き続き啓発を実施する。

第三次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和4年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和3年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
【施策2】教育・保育施設等における子どもの読書活動の推進					
8	保育・幼稚園課	保育士・幼稚園教諭等職員及びボランティアによる読み聞かせの実施	・職員による読み聞かせはほぼ毎日行った。 ・ボランティアによる読み聞かせは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため行わなかった園が多かった。	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアによる読み聞かせを行った園でも回数を減らしている。ボランティアの確保が難しい園もある。	・絵本の読み聞かせを継続する。 ・ボランティアによる読み聞かせは、感染症対策を行いながら継続していく。
9	保育・幼稚園課	園児や未就園児への図書の貸出し	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、貸し出しを中止した園が多かった。	・絵本返却時の消毒等が課題となり、絵本の貸出しは回数を減らしたり中止の対応をとった。	・感染症対策を行いながら、絵本の貸出しを行っていく。
10	保育・幼稚園課	園だより等での読書に関する情報提供	・園だより、クラスだより、絵本だより等で読書に関する情報提供を行った。	・未実施の園がある。	・親子で絵本が楽しめるように、園だより等で保護者に読書に関する情報提供を行う。
11	保育・幼稚園課	職員への読み聞かせ等の研修の実施	・各園で絵本紹介や読み聞かせについて研修を行った。	・研修を予定していたが、コロナ対応があり、実施できなかった園もあった。	・読み聞かせや絵本の大切さを学び、職員自身が絵本の楽しさを理解して読み聞かせができるように、研修を行う。
12	保育・幼稚園課	こども広場・地域子育て支援センターでの読み聞かせ会の実施や絵本等の紹介・貸出し	・こども広場では月1回読み聞かせの会を行った。地域子育て支援センターでは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、絵本の貸出しを行わなかったが、職員が読み聞かせや絵本の紹介等を行った。（こども広場・地域子育て支援センターは、1月に新型コロナウイルス感染警戒レベル5に引き上げに伴い休館した。）	・読み聞かせの会は好評である。地域子育て支援センターでは新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティア等による読み聞かせは中止したが、職員が読み聞かせを行った。	・感染症対策を行いながら、親子で絵本に親しむ機会を積極的に設けていく。
13	保育・幼稚園課	図書の購入と絵本コーナーの充実	・破損本の修理を行った。破損度合いの激しい本の買い替えや新刊本の購入を行った。	・予算が限られているが、子どもの年齢や興味に合わせて購入している。	・限られた予算を有効活用していく。 ・子どもが絵本に興味を持てるようなコーナー作りをしていく。

第三次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和4年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和3年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
【施策3】学校等における子どもの読書活動の推進					
14	小中学校 市立長野高校	全校一斉読書の実施	小学校 96.2% 中学校 100% 毎日 29校 週1～4回 12校 週1回 21校 読書旬間中 12校 なし 3校 不明 3校	・一斉読書時間の設定により、普段読書をするのが少ない子も読書することが出来る。時間になったら各自で読書始める姿が見られる。 ・静かに朝読書を行い、落ち着いた雰囲気のまま1時間目に臨める。 ・コロナ禍で日課変更となり、十分な時間が確保できない。	・読書旬間などに全校一斉読書を計画するなど、図書委員会と協力して、図書館利用を進める。 ・発達段階に応じた書籍を紹介し、読書内容の向上を目指したい。 ・チャレンジ本や先生や図書委員のお薦め本で、読書意欲を維持させたい。また、「図書館だより」で新刊本などの紹介を行うなどして、啓発を続ける。
15	小中学校 市立長野高校	読書週間・読書旬間の設定	小学校 96.3% 中学校 100% 年1回 28校 年2回 41校 年3回以上 2校 なし 2校 不明 7校	・新型コロナウイルス感染防止のため、外部からのお話ボランティアによる読み聞かせは実施できなかった。 ・職員のおすすめ本の紹介や姉妹学級とのペア読書(読み聞かせ)などを実施し、本に親しむことが出来た。	・コロナ禍に合わせた読書週間を計画する。 ・読んだ冊数だけでなく、内容に焦点を置いた企画をする。 ・読書旬間や読書関連活動を利用し、読書が好きな子、図書館利用ができる子を増やしていく。
16	小中学校 市立長野高校	学校図書館の授業での活用の推進	小学校 100% 中学校 100% 週1回 35校 週1～2回 2校 随時 16校 必要に応じて 21校 不明 5校	・コロナにより、図書館で閲覧できない時期は、単元に合わせた本を学年単位で貸し出した。 ・タブレットが配備され、社会科などではインターネット検索が主流になっている。 ・週に1時間、クラスで図書館を使える時間を設置しているので、その時間に読書をしたり、調べ学習をしたりして図書館を利用している。	・図書館の活用事例などを紹介するとともに、授業で活用しやすい図書館環境になるよう努める。 ・コロナの状況に則した図書館利用の基準を学校全体で共有し、図書館で読書や調べ学習を行えるようにする。
17	学校教育課 小中学校	学校図書館の図書資料の充実	小学校 100% 中学校 100%	・国語の教科書に掲載されている本の購入及び、最近話題になっている本や受賞作品の購入を行っている。 ・古い資料を除籍しながら図書資料の入れ替えを心がけている。 ・百科事典などの高額な資料の買い替えは困難。	・教科担任等とともに連絡を取り、校内のニーズを把握し、要望に沿った図書・資料の充実を図る。 ・子どもたちの要望と、情報センターとしての図書館の役割とのバランスをとって、本を購入していく。
18	学校教育課 小中学校	推薦図書リストの周知や活用	小学校 100% 中学校 100%	・推薦図書リストを参考に推薦図書を購入し、本の紹介コーナーを設置したり、図書館だよりで家庭に周知したりしている。 ・高額なものが多く、予算が足りない。	・推薦図書リストを参考にした本の購入、紹介、コーナーの設置の工夫等を継続していく。 ・学校司書と司書教諭が連携し、活動を行っていく。
19	小中学校 学校教育課 市立図書館	市立図書館や県立図書館等の利用・連携	【小中学校】【学校教育課】 ・小学校 72.2% ・中学校 69.2% 【長野図書館】 団体貸出(小学校・中学校) R3:180回、2,059冊 【南部図書館】 ・団体貸出(小学校・中学校) R3:34回、340冊 ・図書館利用を促すため、小学校1年生に図書カード発行申込書を配布した。	【小中学校】【学校教育課】 ・自校図書館の蔵書では足りない資料などを市立図書館から借りられてありがたい。 ・他の学校も学習の時期が同じくらいなので、貸出中で借りられないときもある。 ・本を購入する際の参考にさせてもらっている。 【市立図書館】 ・市内の小学校・中学校を中心に団体貸出を実施した。 ・(長野図書館)FAX・市役所連絡車を活用した図書館資料の貸出を中山間地の小中学校を対象にしている。また、新たに学校の団体貸出において取り置き対応もしている。 ・(南部図書館)貸出回数は増加傾向にある。夏休みに楽しむ児童書という観点から「おすすめ本」リストを作成し、小学校に配布している。	【小中学校】【学校教育課】 ・公立図書館の企画や情報を参考にし、読書活動の充実を図っていく。 ・図書館を授業で活用できる場面を年間計画として整理し、資料が足りないものについては団体貸出の利用も考えていく。 【市立図書館】 ・(長野図書館)小学校・中学校の授業内容(課題)に合わせた団体貸出を実施するなど、学校との連携を更に深め、資料の活用の拡大を図る。 ・(南部図書館)季節ごと、または冬休み・春休みなど子どもの休みに合わせた児童書の「おすすめ本」リストの配布を検討する。
20	教育委員会総務課	校舎改修事業等に伴う学校図書館の整備・充実	信州新町小学校移転に伴う増築工事(図書室含む)の工事発注を行った。	図書室のある校舎が長寿命化改修にあたる場合は、整備・充実が図られる。	・個別施設計画に基づく校舎の長寿命化改修にあわせ、小中学校整備指針により、児童生徒数に合わせた広さを確保し、児童生徒の活動の中心的な位置に配置していく。
21	学校教育課	学校図書館の情報化の推進	・県立図書館職員・市立図書館職員と情報センター、学習センターの役割、在り方について検討	・引き続き学校図書館システムの運用、学校間相互貸の蔵書検索や図書についての情報共有手段としてシステムの活用を進めていく。	・学校図書館システムを利用できる端末の増設を検討する。 ・レファレンスの充実や児童生徒の把握のため、継続してシステムの活用を図っていく。

第三次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和4年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和3年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
22	学校教育課	校内読書コーナー等の設置の検討	小学校 90.5% 中学校 78.6%	・季節や行事に合わせて毎月テーマを決めて掲示した。新聞などの掲示も校内で進めている。 ・図書館前の廊下に、図書委員や教員による推薦図書の紹介カードを掲示した。	・各学校の実践事例を参考にするなど、情報共有しながら生徒が興味関心を持つような掲示・展示を促進する。 ・不特定多数の児童が利用するスペースでの感染対策について、研究を進めていく。
23	学校教育課	学校図書館の運営に携わる職員の研修機会の充実	・市主催研修会 年4回開催 ・支会別研修会 各年2～3回開催	・学校図書館司書としての役割や実務、資質向上、勤務に関することを目的とした研修会の実施。 ・市主催（教育センター含む）の研修会開催（年3回） ・各支会研修会やワーキンググループの開催。（年2～3回）	・次年度以降もワーキンググループ開催による公立図書館との連携や学校司書の資質向上を図っていく。
24	小中学校 学校教育課	家庭での読書推進の呼び掛け	小学校 98.0% 中学校 83.3%	・読書旬間の開始に合わせて学年だよりなどに掲載し呼び掛けているが、各家庭での取り組みに差がみられる。 ・読書旬間中は親子読書カードを配布し、少しでも親子で読書に親しめるように呼び掛けている。	・保護者に対して、学校から子どもの読書の様子を伝えながら、家庭での読書の必要性和読書推進の呼びかけを行っていく。
25	小中学校 学校教育課	ボランティアやPTAによる読み聞かせ・ブックトークの実施	小学校 70.6% 中学校 32%	・コロナウイルス感染症予防のため、計画していた読み聞かせが中止になることも多かった。 ・録画や放送なども利用して工夫して行っていた。	・地域のお話の会やボランティアの読み聞かせなど、感染状況によっては積極的にやっていく。 ・オンラインや録画での読み聞かせを検討する。
26	小中学校 学校教育課	ふるさとや世界各国の文化等を理解するためのテーマ本の選定・コーナーの設置【新規】	小学校 88.5% 中学校 92.3%	・地元の民話・歴史の郷土コーナーの設置 ・オリンピック・パラリンピックに関する本のコーナーを設置。 ・郷土資料関係は児童向けのものが少ない。	・地域学習のコーナーや国際理解のコーナーを充実させ探究的学習を進める。 ・マンネリ化しないように、社会情勢を鑑みながら、コーナーの展示を充実させていく。
27	こども政策課	放課後こども総合ブランドバイザーや地域で組織されたボランティアによる読み聞かせの実施	・アドバイザー活動延べ人数 R3:458人 ・参加延べ児童数 R3:10,131人	・読み聞かせのできるアドバイザーを活用できている施設と、活用できていない施設がある。	・引き続き読み聞かせのできるアドバイザーの活用を周知し実施に努める。
28	こども政策課	推薦図書の周知と図書の充実	・厚労省からの推薦図書等の周知 R3:1回	・厚労省子ども家庭局や県文化財課からの推薦図書等を各施設の事業者等に周知している。	・推薦図書等については、国の審議会等で審査されたものなので積極的な周知に努める。

第三次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和4年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和3年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
【施策4】市立図書館等における子どもの読書活動の推進					
29	市立図書館	子ども向け行事の実施及び保護者への啓発	【長野図書館】 おはなし会 R3:80回、親子910人 お楽しみ会 R3:3回、親子149人 【南部図書館】 おはなし会 R3:26回、親子412人 こども会 R3:3回、親子261人	・年間を通じて、読み聞かせを中心とした、子どもに読書の楽しさを伝える各種行事を開催している。 ・「おはなし会カード」を作成し、おはなし会に来た子供にシールを配り、12個集めるとプレゼントと交換するようにし、何度もおはなし会に来てもらえるようにしている。 ・広報ながの・長野市LINE・生涯学習だより・子ども情報誌「ホリデー」・子育てガイドブック・信毎等各種メディアにおいて図書館で実施されている子ども向け行事を紹介し、保護者への啓発もあわせて実施している。 ・臨時休館中や開館後、絵本や児童書をテーマ等を元に5冊セットにし包装し中が見えないようにし、お楽しみセットとして貸し出した。	・今後も事業を継続する。 ・参加者が少ないおはなし会の開催時間や場所、対象年齢別おはなし会の開催を検討する。
30	市立図書館	ブックリストの作成・配布、ホームページ等での紹介	【長野図書館】 児童書の「おすすめの本」リスト配布 R3:600部 年齢別「おすすめの本」リスト配布 R3:各年齢毎 150部 【南部図書館】 児童書の「おすすめの本」リスト配布 R3:600部	【長野図書館】 ・こどもの読書週間の標語にちなんだ年間テーマ本を170冊程度選定し館内で展示、リストを作成・配布し、ホームページ等で紹介している。 ・図書館全職員によるいろいろなテーマのおすすめの本を表紙と文で紹介した冊子を作成、館内で配布している。 ・長野図書館おすすめ本の年齢別リスト(0～2歳、3～5歳、小学校低学年、中学年、高学年)を作成、館内で配布している。 【南部図書館】 ・夏休みに楽しむ児童書という観点からリストを作成している。また、学齢別(0～3歳、幼児、小学校低学年、小学校高学年)の「なんふとしゃん おすすめ本」リストも作成している。 ・紙媒体(冊子)での配布は実施しているが、ホームページなどでの配信はしていない。	・現在の取組を継続して実施する。 ・テーマの見直しを行いながら、おすすめ本リストを作成し、館内掲示・配布する。また、ホームページにも掲載し、貸出状況なども確認できるようにする。
31	市立図書館	児童向け図書館だより(こども読書ニュース「ふれあい」・こどもかいだより「おひさま」)の発行・ホームページへの掲載	【長野図書館】 こども読書ニュース「ふれあい」 R3:毎月300部、ホームページ掲載 【南部図書館】 ・こどもかいだより「おひさま」 R3:毎月550部、ホームページ掲載	【長野図書館】 ・月毎のテーマ、読み聞かせ行事、新刊児童図書等の情報を掲載した児童向け館報を、毎月1回作成・発行し、ホームページに掲載している。 ・保育・幼稚園課を通じて市内の保育園・幼稚園にも配信し、読書活動啓発事業の推進を図っている。 【南部図書館】 ・毎月、こどもかいだより「おひさま」をホームページに掲載し、月ごとのテーマ本や新刊本のリストの情報発信をし、子どもの読書活動の啓発事業の推進を図っている。 ・窓口、分室、移動図書館、長野市南部の保育園、小学校等には直接配布(紙媒体(チラシ))し、読書活動の啓発事業の推進を図っている。	・現在の取組を継続して実施する。 ・民間の幼稚園・子育て支援センター、NPOなど、子どもに関する民間機関・団体と連携し、頒布先の拡大を検討する。
32	南部図書館	移動図書館における児童書の充実と貸出し	・移動図書館 児童書貸出冊数 R3:34,504冊	・市内全域(92ステーション)を巡回し、図書館本館、分室から遠距離に居住する子どもの読書活動の推進を図っている。 ・より効果的な利用を図るため、巡回ステーションごとの貸出冊数、利用者数に基づき、図書館本館及び分室の利用圏域の補完及び巡回のルート設定を考慮し、巡回ステーション・コース・時間の見直しを実施している。 ・少子化や両親の就労等により、児童書の貸出冊数は減少傾向にある。	・今後も事業を継続する。 ・より効果的な利用を図るため、巡回ステーション・コース・時間の見直しを図る。 ・立寄った中山間地の支所、公民館等で読み聞かせを行う等、移動図書館がさらに有効活用されるよう検討する。

第三次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和4年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和3年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
33	市立図書館	児童書コーナー「お話しの部屋」・「親子コーナー」の整備・充実	【長野図書館】 - 子どもが靴を脱いで利用できるスペースを設置し、子どもと保護者が自由に絵本や紙芝居などの読み聞かせを行う場所としている。 児童書蔵書数 R3:120,646冊 【南部図書館】 「親子コーナー」の一部に、子どもが靴を脱いで利用できるスペースを設置した。子どもと保護者が自由に絵本や紙芝居などの読み聞かせを行う場所、ボランティアによるおはなし会の場所として活用している。 児童書蔵書数 R3:119,523冊	【長野図書館】 - 平日のおはなし会は1階のおはなしの部屋で行うが、コロナ禍で密を避けるため参加者の多い土日は3階会議室をおはなし会の部屋として整え、おはなし会を実施している。 - 施設の構造上、子ども向けスペースを現状から変えることは困難であるが、本のディスプレイ方法等により、居心地のよい空間・雰囲気づくりに努めている。 【南部図書館】 - 図書館全体の約4割の面積を占める「親子コーナー」が設置されているが、防音設備（間仕切りカーテン等）がないため、他の利用者への配慮を要する状態にある。	- 現在の取組を継続して実施する。 - 改築が検討されている南部図書館については、改築の議論の中で、児童書コーナーの施設・設備上の充実に配慮する。
34	市立図書館	青少年向けの図書を集めたコーナーの整備・充実	【長野図書館】 - 青少年向けの図書を集めた常設コーナーを設置し、図書等を購入している。 - 年に2回、青少年向けのテーマで本を集め、紹介している。 【南部図書館】 - ヤングアダルトコーナー（青少年図書コーナー）を設置した。	書架の移動や各種サインの導入を実施し、好きな本を探せるようにするなど、子どもたちが気軽に利用できる場所づくりに努め、図書整備とサービスの充実を図っている。	- 青少年向けコーナーの資料の充実を図る。 - 推薦図書をホームページで紹介するなど、広報紙及びインターネット等による広報・周知活動を実施する。

第三次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和4年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和3年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
35	市立図書館	中学生・高校生による読み聞かせボランティア・職場体験の実施	【長野図書館】 職場体験の受入 R3:高校1校4人 中学校2校4人 【南部図書館】※No.52に同じ 職場体験の受入 R3:中学校1校6人、高校1校1人、専門学校1校1人、大学1校1人	・コロナ禍のため、令和3年度は依頼が少なかったが、図書館をより身近に感じてもらえるように、中学生・高校生の希望に応じて積極的に受け入れている。	・周辺の中学校・高等学校と連携し、現在の取組を継続して実施する。
36	長野図書館	点字図書・録音図書製作ボランティアの養成	・音訳及び点訳ボランティアのスキルアップのための勉強会を開催した。	・ボランティアのスキルアップを図る。 ・視覚障害者ネットワーク登録のために、指導員資格の取得が必要である。	・引き続きスキルアップのための勉強会を実施するとともに、指導員資格取得者の確保に努める。
37	長野図書館	障害者ライブラリー(点字図書・録音図書の収集・製作・貸出し)の充実	点字図書の製作(タイトル数) R3:44 録音図書の製作(タイトル数) R3:33	・ボランティアによる点字図書・録音図書の製作。 ・利用者へは新刊図書・おすすめ図書等の紹介を毎月行っている。また、リクエストには随時対応している。	・利用者やボランティアと十分な意見交換を行う。
38	市立図書館	特別支援学級、特別支援学校等の施設への団体貸出し	【長野図書館】 R3:194回、6,444冊 【南部図書館】 R3:貸出し実績なし。	・団体からの申し出により貸出しを行っている。	【長野図書館】 ・引き続き貸出しを実施する。 【南部図書館】 ・団体からの申し出により、貸出しを実施する。また、改築の議論の中で、特別支援学級、特別支援学校等の施設への団体貸出しの充実に配慮する。
39	市立図書館	各種研修への積極的な参加	【長野図書館】 図書館司書の外部研修への参加 R3:12回、のべ26人 【南部図書館】 ・図書館司書の外部研修への参加 R3:6回、18人	・令和2年度から引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修数が少なかったが、図書館司書が更に専門的知識を得ることができるように、県立図書館、長野県図書館協会、北信公共図書館連絡協議会などが主催するオンライン研修に積極的に参加した。	・引き続き外部の各種研修会へ参加し、図書館司書としての能力・技術等の研鑽に努める。
40	市立図書館	子ども向け図書の買い換え、資料等の充実	【長野図書館】 児童書受入状況 R3:3,415冊 【南部図書館】 ・児童書受入状況 R3:5,088冊	・良書、名作の整備を目的として、子ども向け図書の計画的な購入や買い換えを実施している。	・今後も、子ども向け図書の計画的な購入や買い換えを実施する。
41	市立図書館	利用者のリクエストへの対応	・図書のリクエストについて、主に新刊図書の選書・購入を通して適切に対応している。	・子ども、保護者及び読み聞かせボランティア等からのリクエストを受け、資料収集方針に基づき利用者のニーズを考慮しながら選書・購入をしている。 ・長野図書館では、児童書のリクエストについては、選書基準に適合するものは全て購入している。 ・在館しない資料については相互貸借により他市町村の図書館から借受をしている。	・利用者のニーズによるリクエストへの対応の増加を図るため、広報紙及びインターネット等によるリクエスト制度の広報・周知活動の実施を検討する。
42	市立図書館	調べ学習に役立つパスファインダーの作成・充実	【長野図書館】 図書館ホームページのパスファインダー 「本の探し方」1項目 「入門編」1項目 「夏休み編」(実践編)25項目 【南部図書館】 実施していない。	【長野図書館】 ・調べ学習に役立てるため、子ども向けのパスファインダー「本の探し方」「入門編」、「夏休み編」(実践編)を図書館ホームページに掲載している。 【南部図書館】 ・実施していない。	【長野図書館】 ・今後も事業を継続する。 ・「夏休み編」(実践編)については、多様なテーマについて項目を追加していく。 【南部図書館】 ・当面、実施の予定はないが、改築の議論の中で、調べ学習に役立つパスファインダーの作成・充実に配慮する。
43	市立図書館	ふるさとや世界各国の文化等を理解するためのテーマ本の選定・コーナーの設置【新規】	【長野図書館】 ・毎月テーマを決め「一般向け」「児童向け」、また「青少年向け」「高齢者向け」を交互に本の紹介をしている。 【南部図書館】 ・毎月テーマを決め「成人向け」「児童向け」本の紹介をしている。	【長野図書館】 ・令和3年のオリンピック開催に合わせて児童年間テーマ「故郷や世界各国の文化を知ろう」コーナーを設置した。 ・テーマに関連する資料の一覧をホームページに掲載し、検索にも役立てている。 【南部図書館】 ・実施していない。	【長野図書館】 ・現在の取組を継続して実施する。 【南部図書館】 ・今後、テーマ本の選定・特設コーナーの設置等について実施を検討する。

第三次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和4年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和3年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
44	公民館 交流センター 家庭・地域学びの課	公民館講座等における読み聞かせ等の実施	・公民館講座等において読み聞かせ等を実施した公民館・交流センター R3:18公民館・交流センター	・地域で活動する読み聞かせボランティアと連携し、おはなし会を実施したり、親子学級の中で読み聞かせ等の時間を設けている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座を開催しなかった施設もあった。 ・地域に子どもが少ない等の理由により、講座を企画したが参加者が集まらなかった公民館・交流センターもあり、開催方法や参加者の募集方法を工夫していく必要がある。	・公民館・交流センターを利用する地域の読み聞かせ団体や子育てサークルと連携して引き続き読み聞かせを実施していく。 ・それぞれの地域の実情に応じて、実施方法や参加者の募集方法を検討していく。
45	公民館 交流センター 南部図書館 家庭・地域学びの課	図書館分室の整備及び利用促進	・児童書貸出冊数 R3:23,624冊 【公民館・交流センター】 ・26の公民館・交流センターにおいて、公民館報、交流センターだより、図書だより、ホームページ等で分室の紹介等を行った。 ・新刊本やおすすすめ本の配置の工夫やポスター掲示、「読書通帳」の発行など、分室利用促進のための取組を行った。	【公民館・交流センター】 ・公民館報・交流センターだより等に分室の紹介記事を掲載しているほか、本の配置の工夫や読書通帳の発行等により、分室利用促進のための取組を行っている。 【南部図書館】 ・図書館分室に新刊本を随時配本し、児童書の充実を図るとともに、分室からの本のリクエスト(予約)の受け付けや分室での「おはなし会」の選書をするなど、公民館・交流センターとの連携を深め、地域に根ざした子どもの読書活動の推進を図っている。 ・図書館分室ごとに、図書室の扱いが様々で、児童書の貸出数に差が生じている。	・公民館報、交流センターだより等による図書館分室の広報・周知活動を継続して実施する。また、子供向け図書の案内記事の掲載等、子どもの分室利用を更に促進するための取組を検討する。 ・分室使用促進の取組により、利用しやすい環境を整備し、貸出数の増加及び利用率の向上を図る。
46	公民館 交流センター 家庭・地域学びの課	図書館分室において、季節や年中行事を意識した絵本の紹介やお薦め本等の展示	・季節や年中行事を意識した絵本の紹介やお薦め本等の展示 R3:21分室で実施	・季節に合わせたテーマブックコーナーやお薦め本の展示を行っている。子ども向け書架の上等にテーマブックコーナーを設置し、紹介ポップを書くなど利用者の目に留まりやすい工夫を行っている。 ・蔵書数や展示スペースに限りがあるため、展示場所の確保が難しい分室もある。	・引き続き、各分室の状況に合わせ、ふるさとや世界各国の文化等を理解するためのテーマ本の選定・コーナーを設置する。
47	公民館 交流センター 家庭・地域学びの課	ふるさとや世界各国の文化等を理解するためのテーマ本の選定・コーナーの設置【新規】	・図書館分室において、「ながのを知ろう」コーナーや郷土の食べ物に関する図書コーナーを設けた。	・蔵書数やスペースが限られており、テーマ本の選定やコーナーの設置が困難な分室もある。	・各分室の状況に合わせ、ふるさとや世界各国の文化等を理解するためのテーマ本の選定・コーナーの設置について検討する。
48	公民館 交流センター 家庭・地域学びの課	子育てサークルや子ども読書活動を行うグループへの学習室等の貸出し	・20公民館・交流センターで74団体が登録・活動(令和4年3月末現在)している。	・子育てサークルや子どもの読書活動を行うグループへの学習室の貸出しを行っている。 ・乳幼児が利用できる部屋(和室等)や駐車場数等、施設面での制約がある。	・引き続き子育てサークルや子ども読書活動を行うグループへの学習室貸出しを行っていくと共に、公民館・交流センターの子育て講座終了後の自主的な学習グループ化を支援していく。
49	博物館	博物館行事に合わせた読書イベントの開催	・読み聞かせを行うボランティアグループがないため未実施。	・読み聞かせを行うボランティアグループが解散し、今後も博物館のボランティアとしては活動しない意向である。	・博物館まつり等の時など、博物館のボランティアとしてではなく、個人的に読み聞かせを行いたいとの希望がある。
50	家庭・地域学びの課	少年科学センターにおける読書コーナーの設置	・学習室に絵本などの子ども向け書籍を設置し、親子や子どもたちの読書活動を推進した。	・令和4年3月末で閉館となった	・子ども読書活動を支援するため、引き続き整備していく。また、リニューアル後に向けた市民ニーズを聞き入れるよう、所管課と検討していく。

第三次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和4年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和3年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
【施策5】関係機関の連携と普及啓発の促進					
51	南部図書館	リサイクル図書の有効活用	・「南部図書館まつり」の際にリサイクル本の配布を行った。	・南部図書館で不要となった本をリサイクル本として児童館等、学校、公民館、保育園など市の施設及び関係施設を中心に配付することにより、市の施設及び関係施設全体での図書の充実(有効活用)を図っている。	・今後も事業を継続する。 ・小学生対象のリサイクル図書が出た場合は、児童館等、学校、公民館、保育園など市の施設及び関係施設への周知配布について検討する。
52	市立図書館 学校教育課	児童・生徒の図書館見学・体験の実施	【長野図書館】 小・中学生、高校生の見学・体験 見学1校3人、体験3校8人 【南部図書館】※№35に同じ 職場体験の受入 R3:中学校1校6人、高校1校1人、専門学校1校1人、大学1校1人 【学校教育課】 ・公立図書館へ地域や教科の学習、社会見学、遠足行事、職場体験として実施。	【長野図書館】 ・図書館をより身近に感じてもらえるように、希望に応じて積極的に受け入れている。 【南部図書館】 ・児童についての図書館見学・体験等は実施していない。 【学校教育課】 ・学校から公立図書館までが遠距離であり、交通手段の確保が難しいため、社会見学等でも入れにくい。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策のため、実施は難しい。	【長野図書館】 ・現在の取組を継続して実施する。周辺の中学校・高等学校と連携して行っていく。 【南部図書館】 ・篠ノ井地区の小学校等と連携し、「図書館の”秘密の裏側探訪”」等のイベントを企画し、図書館見学の実施を検討していく。 【学校教育課】 ・児童の公共図書館の将来的な利用を見据え、また、学校図書館とは違った設置意義を知るために、公共図書館の見学・体験ができるよう検討していく。
53	市立図書館 学校教育課	学校図書館に関する相談体制の整備	【長野図書館】 ・窓口となる担当者を決め、学校司書などの求めに応じたレファレンスサービス等、個別の相談に対応した。 ・学校司書の支部会で、本の修理方法の研修会を行った。 参加:学校司書10人 講師:図書館司書2人 【南部図書館】 修理本講習会の実施 【学校教育課】 ・ワーキンググループや、支会研修等において市立図書館との連携の機会を持つことが出来た。	【市立図書館】 ・市立図書館で対応できることは限定的ではあるが、対応できるものについては、実施している。学校数が多く、図書館数が少ないため、すべての学校に対応していくことは難しい。 【学校教育課】 ・ワーキンググループや支会研修等を通して、学校図書館がどのような支援を必要としているかを伝えることが出来た。 ・市立図書館の相談窓口となる担当者が明確であると学校司書が相談しやすい。 ・ワーキンググループが作成した司書通信により、学校司書業務が明確化されてきた。	【市立図書館】 ・教員や学校司書からの個別の相談には、その都度必要な支援を行う ・今後も継続的に関係機関と協議を行い、支援体制の整備について更なる検討をしていく。 【学校教育課】 ・今後も市立図書館とワーキンググループが連携し、様々な情報を発信していく。 ・今後も司書通信を発行し、学校司書の抱えている疑問や課題等を共有できる体制を維持していく。
54	市立図書館 家庭・地域学びの課	読み聞かせボランティア等養成講座の開催	【家庭・地域学びの課】 R3:実施なし 【長野図書館】 「読み聞かせボランティア養成講座」5回シリーズ(コロナ禍により2回で中断) R3:受講者24名 【南部図書館】 ・読み聞かせ初心者講座 R3:16人	【家庭・地域学びの課】 ・市立図書館で同様の講座が行われていることから、実施していない。 【長野図書館】 ・「読みがたりボランティア養成講座」を開催し、受講後はおはなし会に参加してもらっている。 【南部図書館】 ・「読み聞かせ初心者講座」として、「読み聞かせ入門コース(読み聞かせの基礎の習得)」と「読み聞かせボランティア入門コース(ボランティア活動の基礎知識・技術の習得)」を実施している。 また、初心者講座修了者が、読み聞かせボランティア等の高度な実践を十分に行えるように、令和元年度から「読み聞かせ中級(ステップアップ)講座」を実施する予定だったが、コロナウイルスの蔓延のため中止となった。	【家庭・地域学びの課】 ・実施予定なし。 【長野図書館】 ・今後も事業を継続する。 【南部図書館】 ・読み聞かせボランティアグループの新規結成を目指し、そのリーダーを養成するため、令和2年度以降に「読み聞かせ上級(リーダー養成)講座」の開催を検討する。さらに、受講者の増加を図るため、各種メディアを活用した講座開催情報の配信の拡大を検討する。
55	家庭・地域学びの課	ICTを活用した子ども読書活動の啓発【新規】	・ホームページ及び長野市子育て応援アプリ「すくすくナビ」を利用しておひさで絵本事業の紹介を行った。	・現在は、ホームページ等の活用だけに留まっているため、新たな広報媒体での情報発信等を検討する必要がある。	・配信内容を検討しながら、今後も取組を継続する。
56	家庭・地域学びの課	長野市子ども読書デーにおける啓発活動の実施	・長野市子ども読書デー関連イベントとして、親子わくわくフェスタにおいて、市立図書館司書のおすすめ本バンプレットを配布した。 ・広報ながの、市政ラジオ及びホームページ等による啓発活動を行った。	・「親子わくわくフェスタ」に合わせ、長野市子ども読書デー関連イベントとして絵本の読み聞かせ等の催しを企画・実施している。 ・さらに子どもの読書活動を啓発・推進するため、市民のニーズに合致したイベントにする必要がある。	・市民のニーズに合致し、かつ、読書の楽しさを伝える取り組みとしてより効果的な啓発活動を検討し、引き続き実施する。 ・ICTを活用し、子ども読書デーの啓発や関連イベントの周知を積極的に行っていく。

第三次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和4年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和3年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
57	市立図書館 家庭・地域学びの課	こどもの読書週間における啓発活動の実施	【家庭・地域学びの課】 ・啓発用ポスターを小・中学校、公民館、交流センター、保育園等へ配布した。 【長野図書館】 ・児童書の「おすすめの本」リスト配布 R3:600部 ・しおりの配布 【南部図書館】 ・たんぼぼこども会	【家庭・地域学びの課】 ・啓発用ポスターを小・中学校、公民館・交流センター、保育園等へ配布した。 【長野図書館】 ・各年のこどもの読書週間の標語及び年間テーマによりリストを作成・配布し、ホームページ等で紹介している。 ・職員による手作りのしおりを作成し配布している。 【南部図書館】 ・子ども読書週間(子ども読書の日)事業として、毎年、5月上旬に「たんぼぼこども会」を開催し、「こどもの読書週間」の啓発用ポスターの掲示と共に、子どもの読書の啓発活動と読書活動の推進を図っている。	【家庭・地域学びの課】 ・今後も継続して実施する。 【長野図書館】 ・今後も継続して実施する。 【南部図書館】 ・今後も事業を継続する。 ・イベント参加者の増加を図るため、ホームページ、広報紙等以外にも、SNS、スマートフォンアプリ、Webサイト、フリーペーパー、行政情報モータなどの各種メディアを活用したイベント開催情報の発信の拡大を実施する。
58	家庭・地域学びの課	読書活動推進イメージキャラクターの活用	・ホームページ、ブックリスト等に掲載している。 ・BOOKロウのしおりを作成し、長野市子ども読書デー関連イベントで配布した。	・ホームページやブックリスト等において、積極的にキャラクターを使用し周知を図っている。 ・第三次長野市子ども読書計画策定時にイラストの種類が増えたことで、キャラクターを使用する機会が増えている。	・引き続き従来の方法による啓発活動を実施するとともに、キャラクターの新たな使用方法を検討する。